

産業建設常任委員会委員長報告

(令和2年9月29日)

産業建設常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

まず、**第1号議案、令和2年度一般会計補正予算（第5号）**の本委員会所管分ではありますが、その主な内容は、

- ・ **労働費**では、コロナ禍で、在宅勤務などのオンラインによる就業形態が取り入れられる中、そのスキルを身につけるための講座受講を支援する雇用対策経費の増額補正。
- ・ **農林水産業費**では、コロナ禍で需要が減少している亀岡牛のブランド力を維持し、安全で安定した供給体制づくりを支援するなど、畜産振興関係経費の増額補正。
- ・ **商工費**では、市民生活を支援し、地域経済の活性化を図るため、市内の小売店や飲食店で利用できる割引クーポンの発行事業に要する商工業振興対策経費の増額補正、及び「麒麟がくる 京都亀岡大河ドラマ館」の運営支援に要する「麒麟がくる」推進事業経費の増額補正。
- ・ **土木費**では、生活道路として主要な路線整備の推進や、地域懇談会等の要望を踏まえた安全対策として、道路新設改良事業費の増額補正、及び新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から使用を制限した都市公園における、指定管理者への管理運営費支援

として、公園緑地管理経費の増額補正。また、市営住宅の退去に伴う修繕に係る住宅管理経費の増額補正。

- ・ **災害復旧費**では、今夏の7月豪雨で被害を受けた、道路及び河川の復旧に、現年公共土木施設 災害復旧事業費の増額補正を行うものであります。

採決の結果は、全員をもって**原案可決**すべきものと決定しました。

なお、市営住宅の入居募集に当たっては、迅速かつ適正に対処されたいとの意見がありました。

また、可決にあたり、商工業振興対策経費に係る、クーポン券の配布については、重複配布などが起こらないよう、チェック体制等を整え、適正に対応すること。ふれあいカードのチャージ機能を検討するに当たっては、関係団体と十分に協議するなど慎重に進められること。

以上2点について、強く指摘要望するものであります。

次に、**第4号議案、令和2年度 水道事業会計 補正予算(第1号)**については、水道施設運転監視業務に係る債務負担行為について、予算に定めるものであります。

別段異論なく、採決の結果は全員をもって**原案可決**すべきものと

決定しました。

次に、**第46号議案 住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域内の住居表示の方法について（大井町）**は、大井町南部土地区画整理事業の施行に伴い、住居表示の区域を変更しようとするものであり、別段異論なく、採決の結果は全員をもって**原案可決**すべきものと決定しました。

次に、**第47号議案 市道路線の認定及び変更については**、市道路線について、4路線を認定し、3路線を変更しようとするものであり、別段異論なく、採決の結果は全員をもって**原案可決**すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが本委員会の報告といたします。

○第3弾、飲食店や商店街を応援するためのクーポン券を配布

一般会計補正予算（第5号）可決（全頁賛成）

・商工業振興対策経費
1億2,490万1千円増額（財源は全額新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

新型コロナウイルスの影響が続き、経営が厳しい市内の飲食店や商店街加盟店などへの支援策第3弾として、年末商戦を見据え、1家族5千円分（500円×10枚）のクーポン券を自治会を通じて配布する。自治会未加入者は、自治会の窓口や市役所3階商工観光課の窓口で受け取ることができる。利用期間は、11月2日～12月31日まで。事業者の換金請求は、令和3年1月29日までとなっている。

【主な質疑】

問 関係団体と事前に協議したのか。

答 事業の設計自体は、亀岡市で行っているが、関係団体のいろいろな意見を聞きながら進めている。

問 クーポン券が使えるお店は、前回より増えているのか。

答 少し増えると思うが、今後も使用開始の間際まで募集していく。

問 自治会未加入者への周知方法は。

答 SNS等あらゆる手段を使って情報発信していく。

問 商品券に比べて、クーポン券は経済効果が低いのではないか。

答 限られた予算の中で、経費を抑えて、感染症対策を取りながら最大の効果が上げられるように、迅速に取り組んでいく。